



1年学年だより

発行日：令和3年10月1日（金）

発行者：横浜市立南高等学校附属中学校

校長：遠藤 広樹

NO. 5

学校のライバル!?

校長代理 富樫 哲一

早いもので9月も終わりです。夏休み延長の後も、分散登校での限られた教育活動と残念ながら新型コロナウイルス感染症の影響はまだ続いています。

分散登校で人数が少ない授業の様子を見ると少し寂しい気がしましたが、生徒の皆さんの授業に真摯に向かう姿や友達同士で楽しそうにしている姿は、私も含めて教職員の大きな励みになっています。

昨年度から続くコロナ禍の中で、学校の臨時休業や分散登校という、「生徒が学校にいる」ということが当たり前なことではないという現実と直面したり、オンラインを活用した授業の様子を報道で目にしたことが多くなりました。それらは、「学校とは何か」ということを改めて考えるきっかけとなりました。

ICTの発達により、学習の内容によってはオンラインのみで十分に知識等を学べることもあると思いますし、先生からアドバイスをもらったり、友達との意見交換をしたりする双方向でのコミュニケーションさえも可能になりました。それは確かに素晴らしいことです。しかし、「学校」の存在意義はまだ他にもあると思うのです。

以前、私が高校の教員をしていたときに、東京ディズニーランド等を運営している、(株)オリエンタルランドの方の研修を受けたことがありました。その中で私が最も印象に残ったのは、「ディズニーランドのライバルは学校です。」というお話です。他の有名なテーマパークではなく、「学校」をライバルとしてあげていたことに本当に驚きました。

学校とテーマパークの役割はもちろん違います。しかし、確かにテーマパークには、そのテーマパークに来なければ体験できない、アトラクション、ショーなどがあります。また、それらはテーマパークに行っている人とならば、誰とでも共有することができる楽しい話題となります。

同様に「学校」に在籍しているときにしか使ったり、体験したりできないものが多数あります。例えば、黒板とチョーク、跳び箱やマット、食堂や給食、部活動、文化祭、修学旅行、夏休み…、数えあげればきりがありません。しかも、(少し世代や地域によって違うこともあるかと思いますが) 様々な地域、様々な年齢層の方とも共通の体験です。

さて、皆さんはコロナ禍の中ですが、今、学校を楽しむことができますか。今後も、授業や学校行事等を心から楽しいと思ってもらえるように、また安心・安全な学校生活を送ってもらうことができるように、(テーマパークの職員の方々と同じように) 教職員が一丸となって協力し、しっかりとした準備を行って皆さんを日々迎えたいと思っています。何か楽しめないような不安なことなどがあれば、ささいなことでも構わないので是非相談してください。

新型コロナウイルス感染症対策へのご協力、ありがとうございます。

緊急事態宣言発令中の9月でしたが、生徒及び保護者の皆様には、本校の感染症対策にご理解・ご協力いただきまして、感謝申し上げます。引き続き、安心・安全な学校生活を共に創ってまいりたいと考えております。生徒がワクチン接種を受ける場合等の出欠の扱いについてお問い合わせいただきましたのでお知らせします。ワクチン接種等は、「出席停止」として記録することができます。各ご家庭でご判断いただき、ご利用下さい。ご不明なことがございましたら、お問い合わせ下さい。

チーム「K」 VS チーム「G」!?

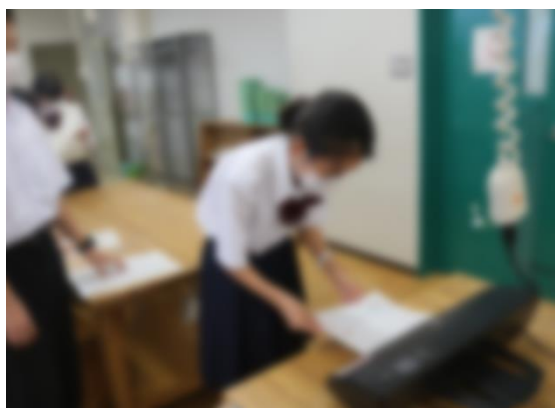
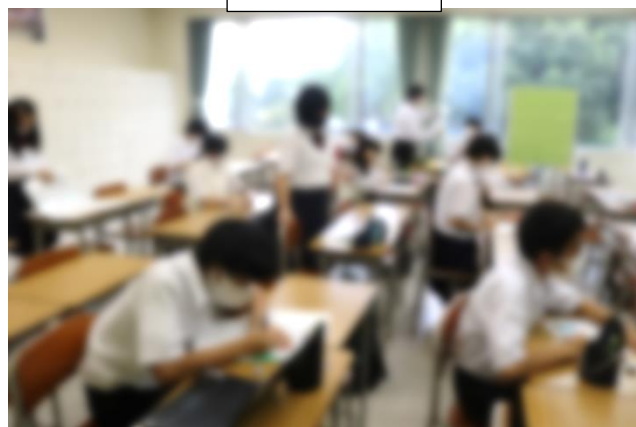
8月27日(金)から始まるはずだった2学期は、緊急事態宣言が発令され、出席番号奇数・偶数に分かれての分散登校という形で9月1日(水)、2日(木)にそれぞれスタートしました。長期休業からそのまま分散登校となり、生徒の皆さんの中には、生活のリズムを整えるのに苦労した人もいるのではないのでしょうか。

学校では、この分散登校の間、人数は普段の半分ではありますがチーム K(奇数グループ)とチーム G(偶数グループ)が各教科の授業はもちろん、学活や道德、EGG も同じ時間だけ取り組みました。チーム K・チーム G のこの1ヶ月の活動、活躍を振り返ってみたいと思います。



朝の学活

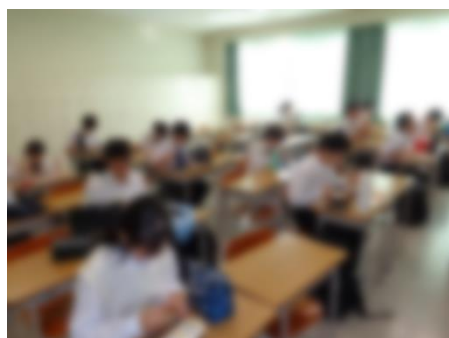
教室での授業



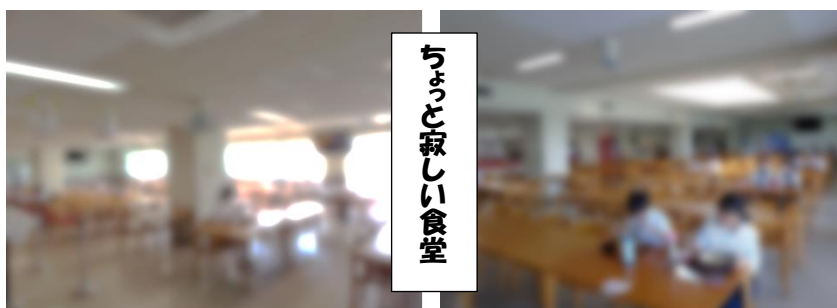
EGG 新聞のラミネート加工



グループエンカウンター
「ひらめき体験教室」



黙食



ちょっと寂しい食堂

ちょっとだけチーム Kの方が多かったです

体育 「ハンドクラップダンス」 決めポーズ

チーム「K」



1組 「ゲッツ!？」



2組 「非常口!？」



3組 「ウイッシュ!？」



4組 「ウルトラセブン!？」

チーム「G」



1組 「腕立て伏せ!？」



2組 「私かわいい!？」



3組 「座禅!？」



4組 「シャキーン!？」

来年こそは！ 南高祭展示の部・舞台の部委員さんより

1年1組 展示・舞台の部委員 ■■■さん、■■■さん、■■■さん、■■■さん

EGG クラステーマ『教育環境』

南高祭展示タイトル『あなたの心にクリティカルヒット』

1組では、「教育環境」というクラステーマをもとに各自で個人テーマを決め、そのテーマについての新聞を作成しました。クラス展示をより多くの人に、楽しみながら全員の新聞を読んでいただくために、展示名やクラス装飾などの工夫をみんなで話し合い、考えていました。特にクラス装飾では展示名である「あなたの心にクリティカルヒット」とクラステーマである「教育環境」をどのようにしてバランス良く装飾するのを中心に話し合いを進めていました。中止になってしまったことはとても残念ですが、今回準備を進めてきて学んだことは沢山あります。来年、再来年の南高祭では今回の経験を生かして、みんなの思い出に残る南高祭にできるように頑張りたいと思います。

1年2組 展示・舞台の部委員 ■■■さん、■■■さん、■■■さん、■■■さん

EGG クラステーマ『医療と技術』

南高祭展示タイトル『Dr. II 私、医療に詳しいので!』

2組では、医療と技術についてというクラステーマのもと、EGGの新聞を作成してきました。コロナ禍であるからこそ、医療技術や医療器具、医療に関することに興味を持ってほしいと思いこのテーマにしました。たくさんの方が医療についての驚きと学びを感じられる展示にしたかったのですがとても残念です。しかし、廊下掲示では私たちの展示でやりたかったことを表しました。2組の展示テーマは「ドクターII」です。皆さんが“大門美知子”になる手助けができれば幸いです。

中止になったと分かった時には、ほんっつとに悲しかったです。自分のクラスもそうですが、他のクラスの展示もすごく楽しみにしてたから、見たかったというのが率直な気持ちです。委員会やクラスでもたくさん活動してきたので、せっかくならばやりたかったとも思っています。中止になってしまいましたが、たくさん協力してくれた人、みんなありがとうございました。来年こそはこの悔しさを忘れないで、最高の南高祭を作りたいと思います。

1年3組 展示・舞台の部委員 ■■■さん、■■■さん、■■■さん、■■■さん

EGG クラステーマ『人権』

南高祭展示タイトル『人権ゼミ 本気で考えた人権』

クラスの展示は、色んな国の人たちが手をつなぎ合っている絵や、平和を象徴するオリーブの絵などを黒板や壁に飾る予定でした。また、人権をテーマにし、世界の人々を表そうとしました。そして、見に来てくれた人に鎖のような物をつけて周ってもらい、出るときに鎖を外すということを考えていました。これは、鎖がほどけた時の自由になった感じを味わってもらうためです。中止になってしまって、今までたくさん準備をしてきただけに残念で悔しかったです。クラスで話し合いなどをして、世界を幸せにする第一歩について考えることができたので来年に生かしていきたいと思っています。

1年4組 展示・舞台の部委員 ■■■さん、■■■さん、■■■さん、■■■さん

EGG クラステーマ『環境問題』

南高祭展示タイトル『明日の Earth 防衛団』

私たちのクラスでは「明日の Earth 防衛団」というタイトルで展示をしようとしていました。明日の Earth を守るために私たちにできることを新聞にまとめました。そして、それを読めばわかる入団試験を受けてもらい合格した人には団員証が渡される設定でした。皆さんが楽しんで読んでもらえるよう工夫しました。みんなでたくさん意見を言い合っ、なかなかまとまらないこともありましたが、会議を進めることの大変さを痛感するとともに会議の進め方を学ぶことができました。南高祭は中止になってしまい、廊下掲示になりとても残念でしたが、頑張っって書いてきた新聞を先輩や先生、他クラスの人たちに見せることができ良かったです。今年できなかつた分、来年、再来年でもっと楽しみたいです。